



ゆうな医療・介護の相談たより

2021年10月号

発行：沖縄県ゆうな協会 医療・介護の相談窓口

電話：098-832-9528

E-mail：iryokaigo@yuunakyokai.jp

医療・介護の相談たよりでは、ゆうな協会の相談に関する取り組みや、医療・介護・福祉に関する制度・サービス、皆さんから寄せられた相談・質問の中で、共通する内容等をご紹介します。

相談専用のメールアドレスができました！個人情報に配慮致します。メールでのご相談もお待ちしています。

●今月の相談：「高齢の回復者の“ユンタク”を聴いて欲しい」

Q：私は、退所者で75歳になりました。療養所に入所した時は10代で、兄弟姉妹のように一緒に生活した友達が何人かいます。お互いに退所してからは、何かにつけて相談し合い、また助け合ってきました。何より、昔話も含めて色々な苦労や悩み、これからの心配事を、誰にも気兼ねせずに“ユンタク”（おしゃべり）できることが楽しみです。でも、みんな高齢になり、集まることも難しくなりました。電話も家族に知られるのでは、と何度もかけられません。特に一人暮らしの人は、仲間との繋がりが無くなるのが寂しいと言っています。集まりたい人は、運転できる人が迎えに行くこともできますが、集まらない人の所へは、訪問して話を聴いて貰いたいと思います。

A：当事者の集まりには、お互いがあるのままでの姿で居られる居場所としての役割があり、それぞれの体験を活かして問題を解決することにつながる力（チカラ）も育まれると思います。ぜひ大事にしたいですね。これからの居場所づくりは、当事者の皆さんの意見を尊重し、場所や集まり方の工夫が必要だと思います。また、ご本人の同意があれば、自宅への訪問も可能です。どのようなことがあれば、集まったり“ユンタク”したりできるか、一緒に考えていきましょう。



●今月のピアサポート活動の紹介：

・「ハンセン病問題ネットワーク沖縄」は、当事者と支援者が毎月1回程度集まり、ハンセン病問題の解決に向けて活動しています。コロナ禍でしばらく休会していましたが、10月から集合とオンラインで活動を再開しました。日程・場所等については、当相談窓口にお問合せください。